



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 (株)東京放送ホールディングス  
コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 俊爾  
問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 伊藤 博信

TEL 03-3746-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	85,119	△0.6	2,678	△39.2	4,399	△23.1	3,004	7.2
26年3月期第1四半期	85,635	△1.6	4,408	8.7	5,722	6.7	2,802	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 10,652百万円 (△10.5%) 26年3月期第1四半期 11,899百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	18.57	—
26年3月期第1四半期	18.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	583,467	394,334	64.3
26年3月期	579,039	385,971	63.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 375,073百万円 26年3月期 366,359百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	11.00	19.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	174,000	1.3	4,400	0.5	5,900	4.2	3,300	13.8	20.39
通期	357,000	0.8	17,400	10.9	19,700	8.9	10,700	10.9	66.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	190,434,968 株	26年3月期	190,434,968 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	28,590,059 株	26年3月期	28,590,009 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	161,844,942 株	26年3月期1Q	152,208,068 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(株)TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

日本銀行の「金融経済月報」によりますと、わが国の景気は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられるものの、設備投資や個人消費が底堅く推移するなど、基調的には緩やかな回復を続けています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高851億1千9百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益26億7千8百万円（同39.2%減）、経常利益43億9千9百万円（同23.1%減）、四半期純利益は、前年同期に比べ特別損失が減少したこと等から30億4百万円（同7.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <放送事業セグメント>

放送事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は538億8千8百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益10億5千4百万円（同61.2%減）となりました。

放送事業の主力である株式会社TBSテレビは、当第1四半期連結累計期間のタイム収入が前年同期比4.0%増、スポット収入が前年同期比2.7%減となりました。

タイムセールスは、レギュラーベースで前年並みの売上を確保したことに加え、5月放送の「緊急生中継！さよなら国立競技場」、6月放送のサッカー「2014 F I F A ワールドカップ ブラジル」が売上増に貢献し、前年実績を上回りました。一方、スポットセールスは、第1四半期の視聴率で、ゴールデン帯・プライム帯ともに前年同期比で上昇したものの、消費税増税の反動の影響などもあり、前年実績に届きませんでした。

株式会社BS-TBSは、タイムセールス、スポットセールスともに好調で、売上は前年同期比7.6%増と堅調に推移しました。昨年7月に放送設備を更新したことに伴い減価償却費が増加した影響で、営業利益段階では減益となりました。

株式会社TBSラジオ&コミュニケーションズは、今年6月のビデオリサーチ首都圏聴取率調査においてもトップを記録し、2001年8月調査以来、まる13年・78期連続で首都圏ラジオ首位の座を守り続けております。ラジオを取り巻く環境は依然厳しいものがありますが、コストコントロールを徹底するとともに、ラジオ放送と連動した事業においても新たな収益の確保を目指してまいります。

#### <映像・文化事業セグメント>

映像・文化事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は273億9千4百万円（前年同期比5.5%減）、営業損失3億2千5百万円（前年同期は3千5百万円の営業損失）となりました。

僱事・興行では、3月から6月まで国立科学博物館において特別展「医は仁術」を開催しました。また、中国ヤン・リーピンの新作「孔雀」公演が5月にオーチャードホールで上演されたほか、6月には舞台「海辺のカフカ」公演（原作・村上春樹、演出・蜷川幸雄）が赤坂ACTシアターなどで行われ好評でした。映画事業は「クローズ EXPLODE」「WOOD JOB！～神去なあなあ日常～」「万能鑑定士Q-モナ・リザの瞳-」などの作品を公開しております。また、昨年公開された映画「SPEC～結（クローズ）～」前編のBD/DVDが6月に発売されました。

メディアビジネス関連では、CS事業のTBSチャンネル1は音楽ライブが加入を牽引、TBSチャンネル2は、本年4月よりプロ野球横浜DeNAベイスターズ主催公式戦全72試合の完全生中継を開始し、大幅に視聴者数を増加させました。オンデマンド事業もレギュラードラマ5番組の見逃し配信を行い、国内最大級のラインナップを保持しております。海外事業では、新作ドラマを台湾・香港・タイや、海外の日本語放送局へ日本での放送開始前に販売することが実現したほか、「SASUKE」などのフォーマット販売も堅調でした。

このほか、スタイリングライフグループでは、中核である小売事業の「ブラザスタイルカンパニー」が、消費税増税の駆け込み需要の反動により減収となりましたが、原価率の改善に努め増益を確保しました。

#### <不動産事業セグメント>

不動産事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は38億3千6百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益19億5千2百万円（同13.5%増）となりました。

赤坂サカスは、各種の興行や「Sacas広場」で開催される様々なイベントを通じて文化・エンタテインメントの発信地としての人気を揺るぎないものとしております。今後もTBSグループや番組をより身近に感じていただくための体験イベントの開催などに加えて、赤坂の街と連動した地域密着イベントにも力を注いでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は5,834億6千7百万円で、前連結会計年度末に比べて44億2千7百万円の増加となりました。受取手形及び売掛金が17億7百万円減少、前払費用が20億3千4百万円減少、有形固定資産、無形固定資産が減価償却等により35億2千6百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が119億7千5百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は1,891億3千2百万円で、前連結会計年度末に比べて39億3千6百万円の減少となりました。保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債(長期)が41億1千3百万円増加した一方、未払法人税等が34億8千5百万円減少、支払手形及び買掛金が29億7千万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は3,943億3千4百万円で、前連結会計年度末に比べて83億6千3百万円の増加となりました。四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き9億7千3百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が78億3千4百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は64.3%、1株当たりの純資産は2,317円49銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間、通期ともに、平成26年5月13日の「平成26年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法、割引率の決定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、これによる損益及び財政状態に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,331	20,762
受取手形及び売掛金	38,297	36,590
有価証券	1,205	35,205
商品及び製品	6,951	7,354
番組及び仕掛品	7,654	8,278
原材料及び貯蔵品	686	713
前払費用	10,731	8,696
繰延税金資産	4,018	3,054
その他	5,529	5,834
貸倒引当金	△143	△123
流動資産合計	130,262	126,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	195,975	196,010
減価償却累計額	△90,875	△92,176
建物及び構築物(純額)	105,100	103,833
機械装置及び運搬具	89,235	89,451
減価償却累計額	△78,999	△79,385
機械装置及び運搬具(純額)	10,235	10,066
工具、器具及び備品	26,848	27,394
減価償却累計額	△23,853	△24,475
工具、器具及び備品(純額)	2,995	2,919
土地	84,006	84,006
リース資産	6,959	6,924
減価償却累計額	△4,051	△4,135
リース資産(純額)	2,908	2,789
建設仮勘定	2,382	1,322
有形固定資産合計	207,628	204,936
無形固定資産		
ソフトウェア	4,704	4,378
のれん	23,196	22,763
リース資産	238	211
その他	1,669	1,621
無形固定資産合計	29,809	28,975
投資その他の資産		
投資有価証券	195,713	207,688
長期貸付金	288	277
繰延税金資産	1,980	2,009
長期前払費用	713	639
その他	13,029	12,961
貸倒引当金	△386	△389
投資その他の資産合計	211,339	223,188
固定資産合計	448,777	457,099
資産合計	579,039	583,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,327	31,357
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払金	9,925	8,564
未払法人税等	4,485	1,000
未払消費税等	686	1,399
未払費用	5,526	3,459
役員賞与引当金	195	21
その他の引当金	1,434	765
その他	5,135	6,709
流動負債合計	83,117	74,677
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	24,800	24,800
環境対策引当金	176	120
退職給付に係る負債	14,460	14,941
リース債務	1,320	1,220
繰延税金負債	24,778	28,891
その他	14,415	14,480
固定負債合計	109,951	114,454
負債合計	193,068	189,132
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	59,512	59,512
利益剰余金	235,548	236,522
自己株式	△36,970	△36,970
株主資本合計	313,076	314,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,860	60,695
繰延ヘッジ損益	306	219
為替換算調整勘定	△31	△45
退職給付に係る調整累計額	146	153
その他の包括利益累計額合計	53,282	61,022
少数株主持分	19,611	19,261
純資産合計	385,971	394,334
負債純資産合計	579,039	583,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	85,635	85,119
売上原価	58,653	60,000
売上総利益	26,982	25,119
販売費及び一般管理費	22,573	22,440
営業利益	4,408	2,678
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	1,598	1,647
持分法による投資利益	6	303
その他	313	189
営業外収益合計	1,931	2,150
営業外費用		
支払利息	284	241
固定資産圧縮損	187	32
固定資産除却損	43	32
その他	101	123
営業外費用合計	617	430
経常利益	5,722	4,399
特別利益		
投資有価証券売却益	—	411
固定資産売却益	41	—
関係会社株式売却益	6	—
特別利益合計	48	411
特別損失		
投資有価証券評価損	55	328
送信所移転対策損失	1,100	—
特別損失合計	1,155	328
税金等調整前四半期純利益	4,614	4,482
法人税、住民税及び事業税	971	481
法人税等調整額	801	1,072
法人税等合計	1,773	1,554
少数株主損益調整前四半期純利益	2,841	2,928
少数株主利益又は少数株主損失(△)	39	△76
四半期純利益	2,802	3,004



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,841	2,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,803	7,832
繰延ヘッジ損益	211	△73
為替換算調整勘定	42	△18
退職給付に係る調整額	—	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△15
その他の包括利益合計	9,057	7,724
四半期包括利益	11,899	10,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,833	10,744
少数株主に係る四半期包括利益	65	△92

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,951	28,978	3,705	85,635	—	85,635
セグメント間の内部売上高又は 振替高	394	975	1,410	2,781	△2,781	—
計	53,346	29,954	5,116	88,416	△2,781	85,635
セグメント利益又は損失(△)	2,717	△35	1,720	4,402	6	4,408

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
	放送	映像・文化	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	53,888	27,394	3,836	85,119	—	85,119
セグメント間の内部売上高又は 振替高	346	825	1,412	2,584	△2,584	—
計	54,235	28,220	5,248	87,704	△2,584	85,119
セグメント利益又は損失(△)	1,054	△325	1,952	2,681	△2	2,678

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

㈱TBSテレビ第1四半期事業収入の内訳

(単位：百万円)

	前第1四半期 (25.4.1~25.6.30)	当第1四半期 (26.4.1~26.6.30)	増減		前事業年度 (25.4.1~26.3.31)
	金額	金額	金額	増減率	金額
テレビ	46,168	46,522	353	0.8%	184,154
タイム・番組制作	20,839	21,668	828	4.0%	86,568
スポット	22,481	21,867	△614	△2.7%	85,484
その他	2,847	2,985	138	4.9%	12,101
事業	6,591	5,811	△780	△11.8%	28,655
不動産	731	744	13	1.8%	2,933
合計	53,491	53,078	△413	△0.8%	215,743